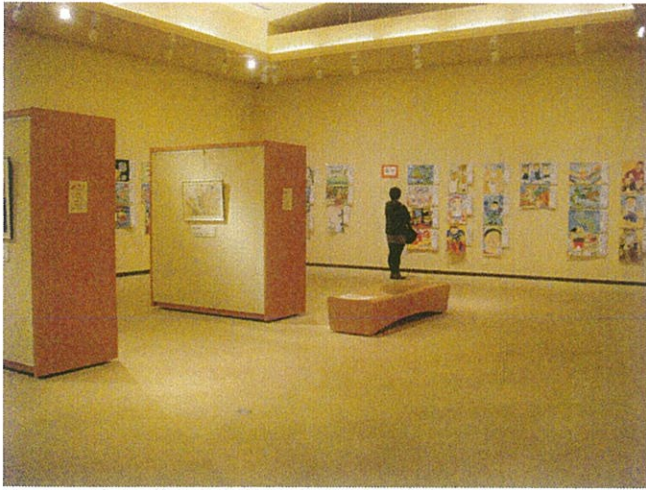


団体名	公益財団法人 美作学術文化振興財団	代表者	理事長 竜門幸司	記載者	野村英子
所在地(市区町村名のみ)	〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田207-4				
活動目的	<p>絵画を通じた美作地域の子どもたちの交流と、美術教育、情操教育の推進を目的に昭和59年より毎年実施。平成15年度より、勝央美術文学館の開館にあわせて名称を「ミマサカコドモ絵画展」と改め、今回10回目となる。美術教育の脆弱化が叫ばれている中で、少しでも多くの子どもたちに、絵画の楽しさ素晴らしさを感じていただきたい。</p>				
団体の紹介	<p>団体の沿革:(設立年、組織、構成人員等)</p> <p>昭和58年勝央町郷土美術館(平成15年3月、閉館)の開館にともない、同館を拠点として地域の文化振興を目的とした財団の発足を願う声が地域に高まり、昭和61年1月設立発起人会を発足。同年3月岡山県教育委員会より設立許可がおりる。以降地域に根ざした芸術文化活動を推進。各種展覧会や文化講座の実施、郷土資料の収集整理、保存研究等を行う。現在、平成15年に郷土美術館の後継館としてオープンした勝央美術文学館に事務所を移し、引き続き事業活動を行っている。設立年:昭和61年3月(平成24年7月公益財団法人へ移行) 組織:理事会(理事長1名、副理事長1名、専務理事1名、理事4名)、評議員会(評議員10名)監事3名/構成員:事務局(事務局長1名、事務局次長1名、主任書記1名)</p>				
助成を受けての活動内容	<p>夏休み明け9月より美作管内の小学校より児童の作品を募集。12月初旬に審査会を開催し、金賞以下各賞を決定した。金賞以下応募作品全てを、勝央美術文学館にて1月7日(火)~2月2日(日)。第10回の記念にあわせてより多く作品を集め充実した展覧会の実施。</p>				
助成を受けての成果	<p>例年より多くの学校より参加いただくことができた。子どもたちの作品の質も上がり、特に1年生の出来は例年になく素晴らしかった。今年は、特別に多くの賞や賞状を渡すことが出来、子どもたちの良い記念となり喜んでもらった。図録も多めに印刷して、日頃配れていない岡山県北の小学校全校に記録集として図録を配布することが出来た。</p>				
今後の活動の課題点	<p>参加校は年々増えているが、財政がだんだん厳しくなり、年々参加賞や賞状を出すのが困難になってきた。</p>				
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>〒709-4316岡山県勝田郡勝央町勝間田207-4(勝央美術文学館内) 電話:(0868)38-0270/メールアドレス:shoomuse@town.shoo.lg.jp/担当:野村 英子</p>				

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。



金銀銅会場. JPG



審査会画像1. JPG



審査会画像2. JPG



入選会場1. JPG



入選会場2. JPG